

The smile may no longer be an **effective way** / <to **mask** one's true feelings>.

↑ ← 不定詞の形容詞用法

☑ 内容Check!

問 次の各文が正しければ ( ) に○を, 誤っていれば×を記入しなさい。

- The muscles we use when we smile truly are different from those we use when we smile falsely. ( )
- In the false smile, the corners of your lips are pulled upward. ( )
- You won't be able to hide your true feelings by smiling if people know how muscles move when you smile. ( )

❖ 覚えておきたい表現

■ way to do 「…する方法」

ℓ.1 : The smile may no longer be an effective **way to mask** one's true feelings. 「ほほえみは, もはや本当の気持ちを隠すのに効果的な方法ではないのかもしれない。」

• way to mask ... 「…を隠す(ための)方法」: 直前の名詞 way を修飾する不定詞の形容詞用法。

Ex. What is the best **way to master** foreign languages? 「外国語を習得するための最良の方法とはどんなものですか。」

• no longer 「もはや…ではない」。

Ex. John **no longer** lives in this house. 「ジョンはもはやこの家には住んでいない。」

• one's : one を主語にすると「(一般に) 人は」という意味になり, one's とすると「(一般に) 人の」という意味になる。

Ex. **One** should be careful in choosing **one's** friends. 「人は友人を選ぶ際に慎重であるべきだ。」

■ while ... 「その一方で…」

ℓ.4 : the muscles surrounding the eyes tighten, **while** the cheek muscles pull the corners of the lips upward 「目を囲んでいる筋肉はぴんと張るのだが, ほおの筋肉は上方に唇の端を引っ張る」

• while 「その一方で…」: 対比を表す接続詞。

Ex. My sister got an A in PE, **while** I got a D. 「姉は体育で A の成績を取ったが, 一方私は D だった。」

■ 動詞+less 「より…しない」

ℓ.9 : people will **worry less** about what they say 「人々は, 自分が何を言うかを気にすることがより少なくなるだろう」

• worry less 「より心配しない」: less は「より少なく…」だが「より少なく心配する」では意味が通じない。「より…しない」と否定の意味にしたり「…するのがより少ない」などとしたりして工夫して訳すとよい。また, 何と比較しているかを考えよう。ここでは「今よりも」ということ。

Ex. Lucy **talked less** today. 「今日, ルーシーは普段よりも口数が少なかった [しゃべらなかつた]。』

■ which ~ to do 「どの~を…するべきか」

ℓ.10 : **which** muscles **to use** when they smile 「ほほえむ際にどの筋肉を使うべきか」

• 疑問詞+to不定詞という形は, まず疑問詞を訳し, 次に to不定詞の部分「…すべきか;…したらよいか」と訳せばよい。これは should を用いて節に書き直すこともできる。which muscles to use は which muscles we should use となる。

Ex. I don't know **which** way **to choose**. 「私はどちらの道を選んだらいいかわからない。」

Ex. People learn **what to do** in their future from parents at first. 「人々は自分が将来何をすべきかを初めは親から学ぶ。」

整理しよう! \*段落要旨・構造\*

- ・ほほえみでは, もはや本当の気持ちを隠せなくなるかもしれない
  - ◆ ℓ.2 **Some** ~ 「ある~は: 列挙・追加」
    - (その理由) ある心理学者が, 本当のほほえみと偽りのほほえみでは使う筋肉が異なると主張。
  - ・(筋肉の動きの具体例)
    - ◆ ℓ.3 **For example** 「例えば: 例」
      - ・本当のほほえみ: 目の周りの筋肉が緊張する。
    - ◆ ℓ.4 **while** 「一方で: 対比」
      - ほおの筋肉が唇の両端を上引っ張る。
    - ◆ ℓ.5 **On the other hand** 「他方で: 対比」
      - ・偽りのほほえみ: 眉間の筋肉が少し動く。
    - ◆ ℓ.7 **while** 「一方で: 対比」
      - 口の周りの筋肉が唇の両端を下引っ張る。
- ・心理学者の主張が正しいと証明された場合
  - 人々は話の内容よりも, ほほえむ時の筋肉の動きを気にするようになるだろう。

背景知識

●筋肉と表情—ほほえみと泣き顔の対比—

ヒトの笑い顔は表情筋の運動によって生み出される。この際, 目尻の横から唇の両端にかけてのびる大頬骨筋たいきょこつぎんの動きが重要となる。smile (ほほえみ) の時に唇の両端 (口角) が上に吊り上がるのは, この大頬骨筋の収縮による。これに伴い, 目尻が下がり, 目の横にしわもできるようになる。とくに口の「形」に着目すると, この時口角が引っ張られ, 唇の形は∪となる。

一方, 泣き顔の場合, 口の形は∩となるが, これは表情筋の下唇下制筋かしんかせいきんが収縮することによって口角が下方と外側に引っ張られるからである。笑い出し, 泣き出しといった, 口の形を形成する表情筋の動作の初めの段階では, 笑いの場合は大頬骨筋, 泣きの場合は下唇下制筋, と収縮する筋肉が異なっているものの, いずれの場合も口角が横に引っ張られることは共通する。できる口の形は∪(笑)・∩(泣)のようにまったく逆のものにはなるが, 口角が横に引っ張られるという動きの共通性から, 時に泣き顔になろうとしている表情が笑いの表情ととらえられる誤解も生まれるという。

【深めたい人に】: 香原志勢『顔と表情の人間学』(平凡社, 1995年)